

平成20年5月28日

保護者 様

泉町保小中高連携推進協議会長 米 多 等
八代市立泉第八小学校長 米 多 等

家庭での生活サイクル調べの協力依頼について

新緑の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜びいたします。

さて毎日のようにマスコミでは残忍事件の報道がなされ、心配が増す状況にあります。人が幸せに暮らすためには、幼児期からの家庭での教育は大変重要で、その関わり方が子どものその後の人生に大きく影響します。現在、熊本県内でも子どもを取り巻く状況は、年々厳しくなっており、欠食（食事を抜く）・個食（一人で食事）やテレビ視聴・パソコンやゲームと向き合う時間の増加、生活時間の深夜化等による生活の乱れが急増しています。親の生活サイクルに振り回される家庭の子どもは、情緒が不安定となってキレたり不登校となるなどの事例が多数報告されています。自分の子どもが事件を起こしたり、他人に迷惑をかけることだけは絶対にあってはなりません。家庭教育は、約60年ぶりに改正された教育基本法に新たに付け加えられ、子どもを幸せな社会生活につなげる第一歩の大変重要な教育です。そのためには、家庭での役割を持たせることは勿論のこと、最も大切なことは毎日の生活サイクルを一定させることとされています。子ども自身が同じ時刻に起きて、同じ時刻に食事をする。同じ時間に勉強して同じ時刻に寝るような生活サイクルを家庭で徹底させ、子どもが時計を見なくても自然と体が反応する（体内時計）ようにさせることが一番大切です。ポイントは、生活サイクルを週末も例外にしないこと。そして毎日朝日を浴びさせることだそうです。子どもの幸せのため、家族一人ひとりが生活サイクルを身につけ、心も体も安定した中で家族全員が関わりあう家庭を目指して努力したいものです。

そこで泉第八小学校では、6月2日（月）から6月8日（日）までの生活を振り返るために、全児童を対象として家庭生活調べ（裏面の表）を実施することとしました。この間は、今までどおりの生活を送らせて記入（4年生以下は保護者が記入）し、そのデータを基に自分の家庭で一番良いと思われる生活サイクルについて親子での話しあいをしてください。

現在、熊本県内の全域で家庭教育キャンペーンとして「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組んでいます。子どもにとって生活サイクルが如何に大切であるかということを理解して、本校でも全家庭で取り組んでいただきますようにお願いします。

なお、裏面に記入していただいた生活調べは、6月10日（火）までにお子様一人一人の担任へ提出をお願いします。

今後も、家庭と学校がお互いに協力し合いながら、お子様の健やかな成長を願って努力していきたいと思っております。